

2019年度国際版画美術館事業報告書【展覧会版】

|                     |  |            |                          |                      |            |          |         |       |
|---------------------|--|------------|--------------------------|----------------------|------------|----------|---------|-------|
| 展覧会名                | 畦地梅太郎・わたしの山男   |            |                          | 担当者名                 | 和南城愛理・高野詩織 |          |         |       |
| 会期                  | 2019年7月6日(土)～9月23日(月・祝)  |            |                          | 開催日数                 | 69日        |          |         |       |
| 協賛・後援・協力            | なし   |            |                          |                      |            |          |         |       |
| 巡回館                 | なし   |            |                          |                      |            |          |         |       |
| 展覧会概要               | 「山の版画家」として知られる畦地梅太郎(1902-99)は、1940年代には風景版画家として評価を得るようになっていた。しかし山の外観を描くことに飽きたらなくなった畦地は50歳を過ぎてから「山男」シリーズに取り組み、それまでとはまったく違う表現に挑んだ。山で感じた自分の気持ちをより強く伝えるために創り出された「山男」は、その素朴さと温かさで人々の心をつかみ、畦地作品の代名詞となっていた。本展は「山男」シリーズに焦点をあて、100点の作品により、畦地が彼らに託した思いを探った。 |            |                          |                      |            |          |         |       |
| ねらい・対象              | 名誉市民である畦地梅太郎は町田市民からの人気が高く、これまでに大小あわせて6回の展覧会を行ってきたが、初期作品を中心とした1987年の企画展をのぞき、いずれも初期から晩年までを年代順に紹介する内容だった。今回は「山男」という主題を中心におくことで、畦地が作品で何を表現しようとしたかを伝えることをねらった。文字による解説ではなく、絵の比較を通して考えることで、大人から子供まで楽しめるよう工夫した。  |            |                          |                      |            |          |         |       |
| 関連催事                | 催事名  | 開催日        | タイトル                     | 講師等                  | 参加者数       |          |         |       |
|                     | 講演会  | 8月3日(土)    | 畦地先生と町田                  | 河野実                  | 30         |          |         |       |
|                     | ギャラリートーク   | 7月31日(水)   | 特別ギャラリートーク               | 畦地堅司                 | 40         |          |         |       |
|                     | 展示室コンサート   | 7月27日(土)   | 山の歌声                     | 奥村浩樹                 | 40         |          |         |       |
|                     | 展示室コンサート   | 9月15日(日)   | 山の歌声                     | 大石洋史<br>佐々木典<br>正木庸平 | 70         |          |         |       |
|                     | 朗読会  | 8月10日(土)   | 畦地さんの「作文」を聞こう            | ボランティア               | 15         |          |         |       |
|                     | ギャラリートーク   | 7月15日(月・祝) | 担当学芸員による展示解説             | 当館学芸員<br>和南城愛理       | 30         |          |         |       |
|                     | プロムナード・コンサート   | 7月13日(土)   | ピアノで探す 世界の山の風景           | 山口友由実                | 312        |          |         |       |
|                     | イベント   | 7月20日～9月1日 | あなたの推し山男は誰？<br>夏休み！山男総選挙 |                      | 2,137      |          |         |       |
| 観覧料                 | 一般   | 65歳以上      | 大・高生                     |                      |            |          |         |       |
|                     | 800 円  | 400 円      | 400 円                    |                      |            |          |         |       |
| 観覧者数<br>(現在)        | 有料計  | 無料計        | 総観覧者数                    | 内、一般                 | 内、65歳以上    | 内、大・高生   | 内、小・中生  | 内、その他 |
|                     | 8,544 人  | 3,310 人    | 11,854 人                 | 5,860 人              | 2,913 人    | 369 人    | 1,443 人 | 人     |
|                     | 目標値  | 11,360 人   |                          |                      |            |          |         |       |
| 主な収入<br>(2020年1月現在) | 観覧料収入  | 図録販売収入     | 受託販売収入                   | その他の特定財源             |            |          |         |       |
|                     | 5,129 千円   | 千円         | 707 千円                   | 千円                   |            |          |         |       |
| 事業経費                | ※観覧収入はインプリントまちだ展分を含む   |            |                          |                      |            |          |         |       |
|                     | ・展覧会協力謝礼   | 116 千円     |                          |                      |            |          |         |       |
| ・作品展示撤去委託料          | 335 千円   |            |                          |                      |            |          |         |       |
| ・作品額装委託料            | 374 千円   |            |                          |                      |            |          |         |       |
| ・展覧会ポスター等作成委託料      | 647 千円   |            |                          |                      |            |          |         |       |
| ・ディスプレイ作成委託料        | 451 千円   |            |                          |                      |            | 1,923 千円 |         |       |

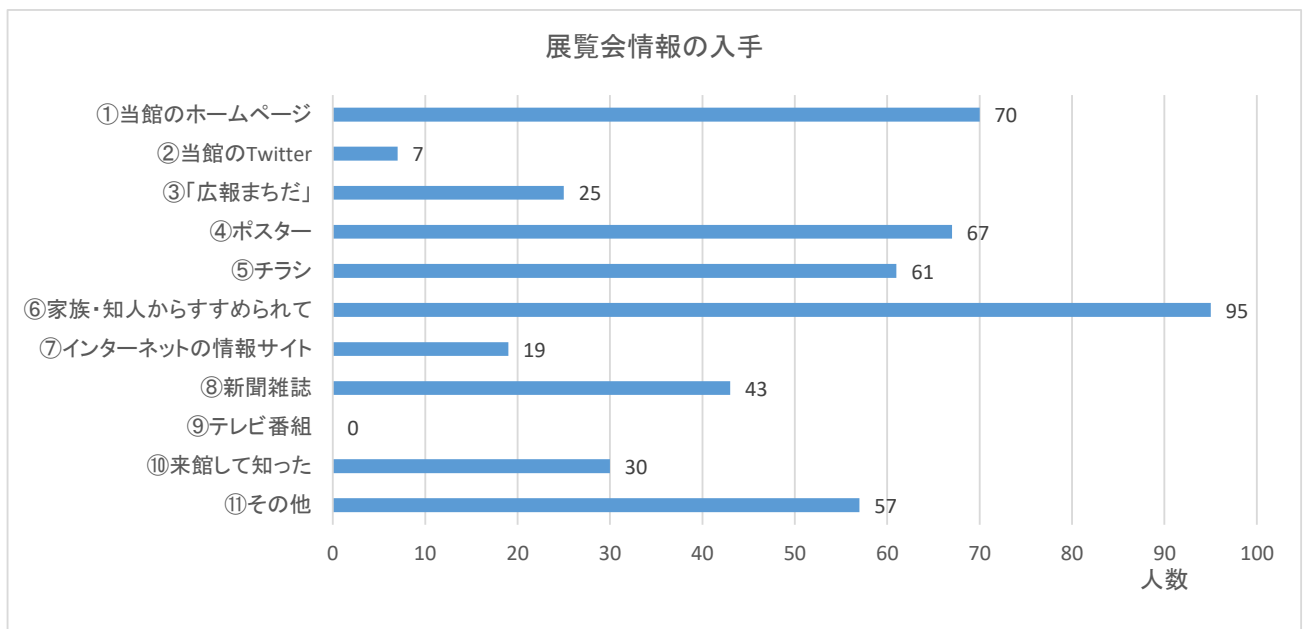
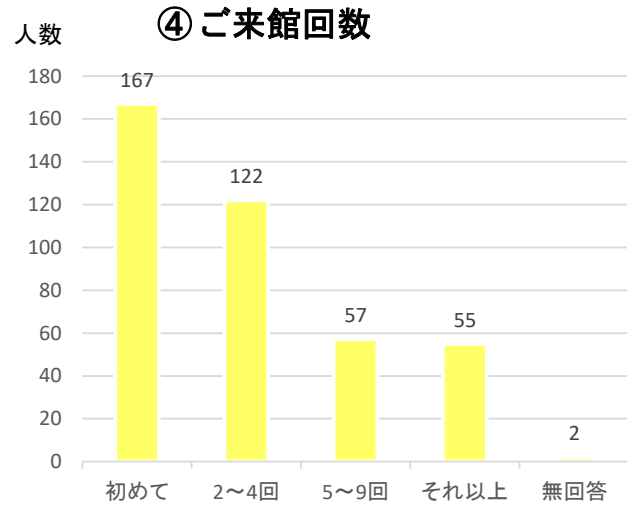
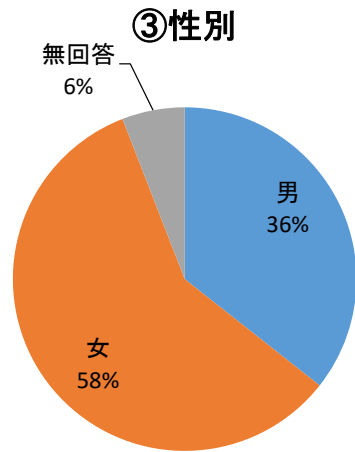
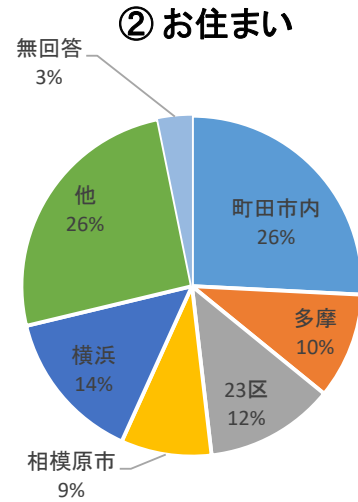
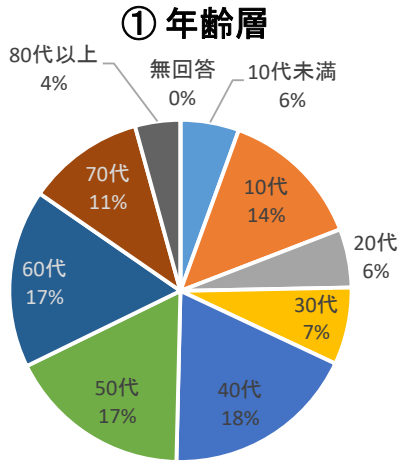
|             |   |  |      |        |                     |      |        |
|-------------|---|--|------|--------|---------------------|------|--------|
| 主な広報・取材等の講評 | 『芸術新潮』8月号「畦地梅太郎 心で刻んだ山と人」、『Tokyo Weekender』8月号「City's best exhibition」、『朝日新聞』2019年9月10日夕刊「美の履歴書：畦地梅太郎「山のよろこび」、日本山岳会ホームページ                       |  |      |        |                     |      |        |
| アンケート結果     | 回収数   | 回収率  | 市民率  | リピーター率 | 満足度(とても良かったと良かったの率) |      |        |
|             | 407 件   | 3.4 %  | 26 % | 57 %   | 企画の内容               | 展示作品 | 展示の仕方等 |
|             | 主なご意見   | 別紙のとおり。  |      |        |                     |      |        |
| 工夫と反省点と改善方法 | 予備調査  | 畦地についてはこれまで開催した展覧会で、作品目録や詳細な年譜を掲載した図録を作成するなどデータの蓄積があった。今回はこれまでとは違う視点で構成することを目標に、「山男」を主題とした作品に出品を絞り、「鳥」「ザイル」など山男と一緒に描かれるものによって作品を分類した。  |      |        |                     |      |        |
|             | 作品選択  | 原画や雑誌のカットまでを含めると450点以上に及び收藏品から、まず画像で大まかな分類をおこなったのち、収蔵庫で実際の作品を並べて100点の作品を選んだ。   |      |        |                     |      |        |
|             | ワークブック作成  | 会期に夏休み期間が含まれることから、普及係の学芸員が小中学生向けのワークブック3、200部を作成した。展覧会の構成と同じく、山男が何と一緒に描かれているかに注目し、「山男の気持ち」、すなわち畦地が作品で表現したかったことは何かを考えてもらう内容とした。思わず手に取りたくなるデザインで、子どもだけでなく多くの観客が手にとっていた。  |      |        |                     |      |        |
|             | ディスプレイ  | 畦地の作品に「山男」が描かれ始めたのは50歳を過ぎてのことであり、周囲には突然の登場という印象を与えたといわれている。これを体感してもらうため、「山男」以前の作品を取り上げた第1部から、「山男」の作品を集めた第2部に入る空間を、可動壁ではっきり区切った。子どもが多い時期に看視の視線が通りにくくなる心配があったが、ゆったりとした展示だったためトラブルもなく無事会期を終えることができた。  |      |        |                     |      |        |
|             | 広報  | 市内の小中学生全員に夏休み前にちらしを配布した。しかし昨夏の「版画キングダム」展のように子ども向けを打ち出した企画でなかったせいか、小中学生の入場者割合は12%にとどまった(昨年は18%)。9月10日付朝日新聞に紙面の四分の一を占める作品図版が掲載された効果は大きく、最終日まで客足が伸び続けた。日本山岳会がHPで紹介するだけでなく、登録会員にメールマガジンで案内してくれたことも効果的だった。  |      |        |                     |      |        |
|             | イベント  | 展示室で作品を見ながら楽しんでもらえるイベントを企画した。作家の令孫にあたる畦地堅司氏は長年畦地の研究を続けており、その成果と家族ならではの思い出をあわせた温かなトークで来場者をひきつけた。初の試みである展示室でのコンサートは好評だったが、参加しない来場者の通りの確保という課題が残った。朗読会は落ち着いた雰囲気でもこちらも好評だった。「山男総選挙」は普及係が企画したイベント。選挙管理委員会から実物の投票箱を借り、ポスター掲示板や投票用紙なども実物に似たものを作成した楽しい内容で、実施期間の入場者4,414人から2,137票の投票があった。1位は「山の家族」で、投票結果は当館HPで発表した。 |      |        |                     |      |        |
|             | 写真撮影  | 著作権者の意向で会場内は全面撮影禁止とした。看視員によれば、撮影したかったと声をかけられることもあったが、強い口調の苦情はみられなかった。窓のシールや美術館入口の柱巻きなどで代用した来館者も多かった。   |      |        |                     |      |        |
|             | その他   | 第2企画展示室のインプリントまちだ展との組み合わせがよかったという感想が目立った。アンケートで畦地を知らなかったという声比以前より多い印象があったが、インプリント展を見に来た若い層が、畦地にも興味をもってくれたためではないか。「あとろえ・う」の畦地グッズを委託販売したところ、非常に好評だった。当館の以前の畦地展の図録は在庫が残っておらず販売できなかった。   |      |        |                     |      |        |
| その他特記事項     | 以前の畦地展に比べて出足に勢いがいい印象があり、高齢化によるファンの減少を心配したが、後半に行くに従い来場者が増えていった。名前は知らなかったがTシャツで見た、70年も前の作品だが古さを感じさせないといった声もきかれ、新しい世代のファンを今後につなげる機会になったのではないかと感じた。 |  |      |        |                     |      |        |

# 「畦地梅太郎・わたしの山男」展

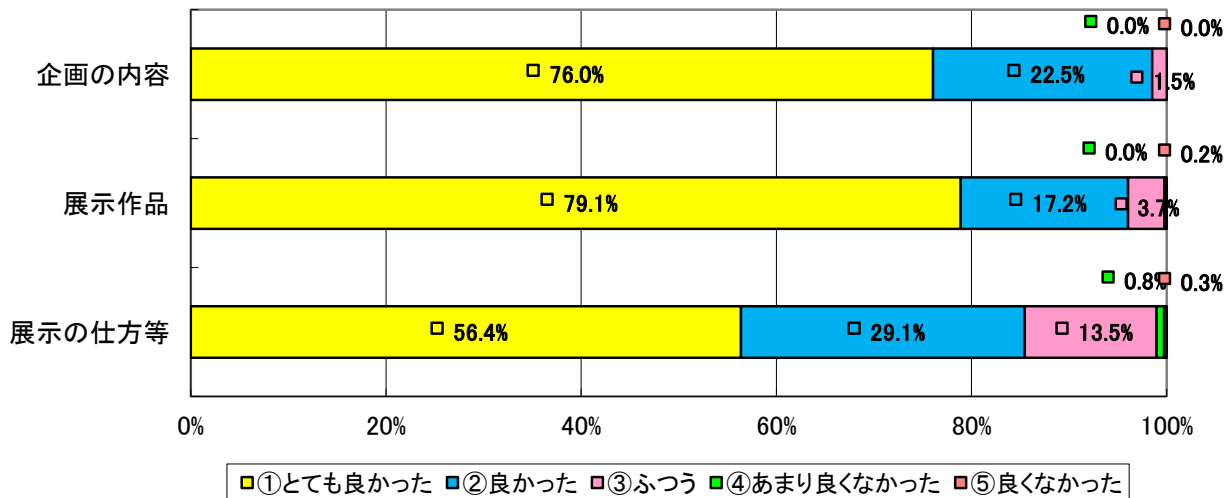
## アンケート集計結果

開催期間：2019年7月6日（土）～9月23日（月・祝）

回答者数： 407 人（総入館者数：11,854人 アンケート回収率： 3.4%）



## ⑥ 回答者の満足度



## ⑦ 主なご意見・感想

### ◆ 畦地梅太郎について

「古くからのファン」「印刷物で知っていたが本物は初めて見た」「町田ゆかりの作家で親しみが持てた」といった声が多かった反面、「初めて知った」「ゆかりの作家とは知らなかった」という感想が以前の展覧会より多かった。

### ◆ 展示について

山男と一緒に描かれているモチーフで分類した展示構成については「テーマを設けた作品の流れが興味深い」「考えながら作品が見られた」「畦地の葛藤がわかった」など好意的な意見が多かったが、「年代がわかりにくい」の声もみられた。「解説パネルが読みやすかった」とともに、「写真コーナーがほしかった」「昭和期の山の道具を展示したらよかった」「年表に間違いがあった」など反省すべき指摘もみられた。

### ◆ 子ども対象イベントについて

「山男総選挙が楽しかった」「ワークブックがわかりやすかった」などたいへん好評だった。

### ◆ 同時開催の展覧会について

「畦地展から田中彰展の流れが自然で心地よかった」など、両企画の組み合わせがよかったとの感想が目立った。

### ◆ その他

「企画案内を広く知らせる方法を考えてほしい」といったPR不足や、「来るとき道に迷った」「駅からの案内表示がもっとほしい」など駅からの順路の分かりにくさを指摘する声が見られた。